



ふれあいひろば

[患者とともにある全人的医療]

知ってください乳がんのこと ～検診から治療まで～

乳腺外科 利川千絵

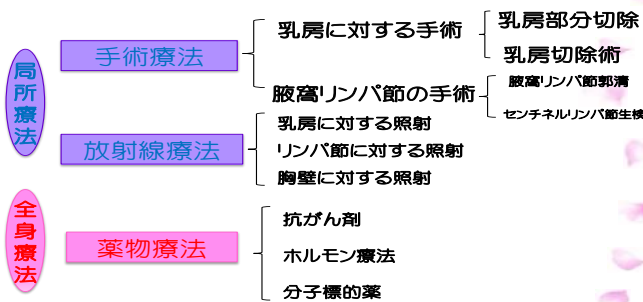
はじめに：

今回の市民公開講座では「知ってください、乳がんのこと」という題で検診から乳がんの治療と副作用、その対処法についてお話させていただきました。盛りだくさんの内容となってしまいましたので、ここでは乳がんの治療について述べたいと思います。

乳がんの治療には3本の柱があります。(表1)

局所治療として手術と放射線治療が、全身治療として薬物治療があります。これらの治療を患者さんの病状に合わせて、うまく組み合わせながら治療を進めていきます。

乳がんの治療



手術法は変化しています。

手術の目的は目に見えるがんをきちんと取り除くことであり、CTやMRIで病変の広がりを確認し、乳房切除術(乳房を全摘する手術)か乳房部分切除術かを決定します。

しこりが小さく、乳房内の1か所にとどまっている場合は乳房部分切除術、しこりが大きい、または乳房内の広がり大きい場合は乳房切除術が選択されます。

わきの下のリンパ節の手術は、以前はわきの下のリンパ節をしっかりと切除する腋窩リンパ節郭清が標準的な術式でしたが、現在は転移のないリンパ節を残すセンチネルリンパ節生検が主流となってきており、患者さんの体の負担は軽くなってきています。

薬物治療はなぜ行うのか？

乳がんは手術すれば治ると考えている方も多いかもかもしれません。しかし、乳がんは見つかった段階で、すでに他の場所に微小転移(目に見えない小さながん)を起こしている可能性があると言われていきます。そのため手術に加え、薬物療法で微小転移を死滅させて転移・再発を抑えることを目指します。薬物療法は、大きく分けて化学療法(抗がん剤)、ホルモン療法、分子標的治療(抗HER2療法)の3つがあります。

自分に合った治療法を選ぶ

乳がんには増殖のための受け皿があります。乳がんの7割はエストロゲンという女性ホルモンをエサとして受け取り、増殖します。つまり女性ホルモンを取り除いてしまえばがんは縮小すると言え、これがホルモン療法です。乳がんの3割はHER2(ハーツ)タンパクが細胞表面に多数存在しており、「アンテナ」のように「増殖せよ」の信号を細胞内に伝えています。つまり、HER2タンパクの働きを抑えればがんは縮小すると言え、これが抗HER2療法です。患者さん個々のがんの特性を調べ、効果的な薬を選択し治療を行います。

最後に

乳がんの治療について述べてきましたが、乳がんの場合、診断から治療が終わるまで、非常に長い期間が必要です。「命を守る」ことも非常に大切ですが、同時にいかに患者さんのQOL(生活の質)を落とさないようにサポートしていくかも私たちの重要な役目と思っています。治療と一緒に乗り切っていけるよう、今後はセミナーや患者会の立ち上げなどを実現していければと考えております。



きさらぎコンサート

ボランティア活動推進委員会

2月15日（水）に約75名の患者さんやご家族の方々においでいただき、院内ボランティアコンサートを開催いたしました。

最初に演奏された川崎春香さんは、現在シンガーソングライターとして様々なボランティア活動を行っている、10才の女の子です。この度、ピアノの先生と一緒に2曲を演奏し、先生の伴奏による春の曲をメドレーで歌っていただきました。会場の皆さんと一緒に「上を向いて歩こう」などを歌ったり、とても楽しませていただきました。



そして、職員によるピアノや和太鼓の演奏では、手拍子や笑いを交えながら、会場の皆さんと一体となり、とても盛り上りました。

ご参加いただいた皆さま、演奏していただいたボランティアの皆さま、本当にありがとうございました。



患者相談

心配ごと・困りごとについて相談やご意見等をお受けしています。

＜ご相談内容＞

- 何科を受診すればよいかわからない
- 心配なことがある
- 病気について教えてほしい
- 入院費用の支払いが心配
- 介護保険を利用したいが・・・
- 訪問看護を利用したいが・・・
- 医療安全に関すること
- 苦情・ご意見・ご提案 などなど



＜ご利用方法＞

- 対 象・・・当院に通院・入院している患者の方、ご家族の方、地域の皆様
- 受付日時・・・月曜日から金曜日 8時半から17時15分まで（病院休診日を除く）
*お電話281-5151（代表）での相談もお受けします。
- 受 付・・・外来1階 【総合案内】にお尋ねください
相談室 104・・・午前9時～12時開室
- 場 所・・・相談室 104

医事課からのお知らせ

高額な外来診療を受ける患者さんへ

—平成24年4月1日から高額療養費制度が変わります—

医療機関の窓口で支払う自己負担額が、1ヶ月（暦月：1日から末日まで）単位で一定額を超えた場合、その超えた金額が支給される「高額療養費制度」があります。

これまでの高額療養費制度の仕組みでは、入院される方については「認定証」の提示により、窓口での支払いを自己負担限度額にとどめることが可能でしたが、外来診療では窓口負担が限度額を超えた場合でも、いったんその額をお支払いいただいていた。

平成24年4月1からは、高額療養費制度が変わり、外来診療についても「認定証」を提示すれば、自己負担限度額を超える分を窓口で支払う必要はなくなります。

外来診療で高額療養費制度を利用される場合は、事前に「認定証」を入手していただく必要があります。認定証の交付手続きについては、ご加入の健康保険組合、協会けんぽ、又は市町村(国民健康保険・後期高齢者医療制度)などにお問い合わせください。



高額な外来診療受診者	事前の手続き	病院・薬局などで
●70歳未満の方 ●70歳以上の非課税世帯等の方	加入する健康保険組合などに「認定証」(限度額適用認定証)の交付を申請してください	「認定証」を窓口提示してください
70歳以上75歳未満で、非課税世帯等ではない方	必要ありません	「高齢受給者証」を窓口提示してください
75歳以上で、非課税世帯等ではない方	必要ありません	「後期高齢者医療被保険者証」を窓口提示してください



登録医の紹介

医院名：済生会新潟内科診療所 所長：岡村 和気

診療科目：内科、循環器科

住所：新潟市中央区田町1丁目3239-1

電話番号：025-226-7712

診療時間：月・火・木・金 8：30-12：30、15：00-18：00
水・土 8：30-12：30

自院特徴と診療方針

- ・親切であたたかい保健・医療・福祉活動をおこなうことにより、地域に信頼される診療所をめざしています。
- ・患者さんのいろいろな問題・悩みについて、医療ソーシャルワーカーが相談に応じています。



■ 対応できるおもな診療内容

大分類	小分類	項目	可能	要相談	不可
特殊保険取扱		労務災害保険	●		●
		生活保護保険	●		
		健康者保険	●	●	
		健康手帳	●		
訪問診療 (訪問地域は要相談)		人工呼吸機・気管切開管理	●		
		在宅酸素療法	●		
		個別栄養カテーテル交換	●		
		胃管管理	●		
		DIV管理	●		
検査内容		NH管理	●		
		モニタリング	●		
		一般検査	●		
		内視鏡検査(経口・経鼻)	●		
		造影検査	●		
		超音波(心エコー・エコー)検査	●		
専門的診療		心電図検査	●		
		CT検査	●		
		MRI検査	●		
		HIV検査の診療	●		
注射	皮下・筋肉	心臓ペースメーカー指導管理	●		
		DIV管理	●		
	点滴	NH管理	●		
		麻酔管理	●		
	点滴	カニューレ交換	●		
		ドレナージ	●		
		インスリン	●		
		SAM/ストレプトマイシン/KM/カオマイシン	●		
		G-CSF(顆粒球コロニー刺激因子)製剤	●		
		エリスロブラスチン	●		
投与	強心薬	●			
	利尿薬	●			
検査	血糖	●			
	アミロリジン	●			
投薬・処方	処方	●			
	養液	●			
	養液・消化性潰瘍の維持療法	●			
	特殊薬剤	●			
	院内処方した精神科薬・抗がん剤・抗凝固薬	●			
処方	ワーファリン	●			
	抗生剤処方の管理担当	●			
	抗生剤処方の管理担当	●			

予約センターの電話のつながりやすい時間帯について

日頃、予約センターをご利用いただきありがとうございます。
予約センターの電話受付時間は下記のとおりとなっております。

- 8時～11時 当日予約希望の方、当日の予約変更の方
11時～16時 翌日以降の予約を希望の方、明日以降の予約を希望の方

時間帯により、電話回線が大変混み合うことがあります。
当日の予約でなければ、午後に電話をいただきますとつながりやすくなっておりますので、この時間帯をご利用ください。

8時～11時	大変混み合う時間帯
11時～14時	少し混み合う時間帯
14時～16時	つながりやすい時間帯

新潟市民病院予約センター専用電話番号

025-281-6600

おかけ間違いのないようご注意ください。



編集後記

待ち遠しい春がやってきました。木の芽のふくらみに生命力を感じます。

病院正面玄関前に桜の木があります。まだ枝も細い桜の木ですが、今から花の咲くのが楽しみです。

(H. A.)

新潟市民病院
広報広聴委員会

新潟市中央区鐘木463-7

電話 025 (281) 5151 (すばやい受診こいこい)

Fax 025 (281) 5187

予約センター 025 (281) 6600 (すばやい予約ろくろくぜろぜろ)